

平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社 TRUCK-ONE
コード番号 3047 URL <http://www.truck-one.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 雄也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 真崎 高利
四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福

TEL 0833-44-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,034	△9.4	1	△94.5	8	△69.2	4	△79.9
29年12月期第1四半期	1,141	34.1	22	611.4	27	799.7	20	657.7

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 0百万円 (△97.7%) 29年12月期第1四半期 19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	1.69	—
29年12月期第1四半期	8.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第1四半期	3,283	624	19.0	260.49
29年12月期	3,152	630	20.0	262.81

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 624百万円 29年12月期 630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年12月期	—				
30年12月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年 1月 1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	2,095	△3.4	29	82.2	26	△4.3	18	7.51
通期	4,169	△5.2	55	8.5	50	△27.9	39	16.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期1Q	2,552,000 株	29年12月期	2,552,000 株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	153,100 株	29年12月期	153,100 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期1Q	2,398,900 株	29年12月期1Q	2,398,900 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が緩やかに増加し、雇用環境や企業収益において改善傾向にありました。先行きについても緩やかな経済の回復の兆しが見られるものの、米国の保護貿易主義による通商政策や近隣諸国における地政学リスクなど、依然として景気の下振れに注意が必要な状況が続いております。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、高年式車両を中心とした事業用車両の販売は堅調に推移しているものの、年頭における立上りの遅れに加え、車両の架装納期の影響もあり足取りの重いスタートとなりました。

運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、車両代替に伴う減価償却費の増加・車両修繕費の増加の影響により前年同期を下回ることとなりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の業績としては、売上高1,034,203千円（前年同期比9.4%減）、営業利益1,259千円（前年同期比94.5%減）、経常利益8,555千円（前年同期比69.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,047千円（前年同期比79.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

①商用車関連事業

年頭における立上りの遅れ及び販売車両の納期の先送りにより、商用車関連事業の売上高は846,903千円（前年同期比8.9%減）、セグメント損失は1,936千円（前年同四半期はセグメント利益7,084千円）となりました。

②運送関連事業

取引先の見直しを進めたことと、車両の修繕費増加の影響を受けたことにより、運送関連事業の売上高は187,300千円（前年同期比11.4%減）、セグメント利益は1,037千円（前年同期比92.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は3,283,210千円となり、前連結会計年度末に比べ130,621千円の増加となりました。このうち流動資産は101,373千円増加して2,232,047千円となりました。主な要因は商品及び製品が120,458千円増加したことによるものです。また固定資産は29,247千円増加して1,051,163千円となりました。

負債合計は2,658,323千円となり、前連結会計年度末に比べ136,182千円の増加となりました。このうち流動負債は145,651千円増加して2,479,780千円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が215,797千円増加し、短期借入金が52,000千円減少したことによるものです。また固定負債は9,469千円減少して178,543千円となりました。主な要因は長期リース債務が9,185千円減少したことによるものです。

純資産合計は624,887千円となり、前連結会計年度末に比べ5,560千円の減少となりました。主な要因は利益剰余金が1,974千円、その他有価証券評価差額金が3,586千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、第1四半期以降の車両受注が昨年同時期を上回っていることを考慮し、平成30年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348,914	355,584
受取手形及び売掛金	230,428	187,516
商品及び製品	1,520,078	1,640,537
原材料及び貯蔵品	3,063	9,508
繰延税金資産	13,529	16,268
その他	15,375	23,254
貸倒引当金	△716	△622
流動資産合計	2,130,673	2,232,047
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産(純額)	85,846	120,306
土地	410,973	410,973
その他(純額)	338,817	331,683
有形固定資産合計	835,637	862,963
無形固定資産合計	14,565	14,615
投資その他の資産		
投資有価証券	119,835	120,537
破産更生債権等	1,189	1,189
繰延税金資産	4,904	6,788
敷金及び保証金	22,449	22,107
その他	24,347	23,975
貸倒引当金	△1,014	△1,014
投資その他の資産合計	171,712	173,584
固定資産合計	1,021,915	1,051,163
資産合計	3,152,589	3,283,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	740,784	956,582
短期借入金	1,360,000	1,308,000
1年内返済予定の長期借入金	13,067	5,680
リース債務	40,066	39,806
未払金	122,077	136,597
未払法人税等	27,800	3,240
賞与引当金	1,024	8,597
その他	29,306	21,275
流動負債合計	2,334,128	2,479,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
固定負債		
リース債務	148,294	139,108
長期未払金	3,623	2,860
繰延税金負債	1,407	865
退職給付に係る負債	34,687	35,708
固定負債合計	188,012	178,543
負債合計	2,522,140	2,658,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	495,514	493,540
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	623,713	621,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,734	3,148
その他の包括利益累計額合計	6,734	3,148
純資産合計	630,448	624,887
負債純資産合計	3,152,589	3,283,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	1,141,591	1,034,203
売上原価	1,000,071	913,583
売上総利益	141,520	120,620
販売費及び一般管理費	118,743	119,360
営業利益	22,777	1,259
営業外収益		
受取利息	2	27
受取保険金	1,348	283
保険解約返戻金	432	218
持分法による投資利益	3,998	6,146
その他	2,383	2,450
営業外収益合計	8,166	9,126
営業外費用		
支払利息	1,849	1,739
その他	1,351	91
営業外費用合計	3,201	1,830
経常利益	27,741	8,555
特別利益		
固定資産売却益	-	399
特別利益合計	-	399
特別損失		
役員退職慰労金	-	5,000
特別損失合計	-	5,000
税金等調整前四半期純利益	27,741	3,955
法人税、住民税及び事業税	10,328	3,240
法人税等調整額	△2,742	△3,332
法人税等合計	7,585	△92
四半期純利益	20,156	4,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,156	4,047

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	20,156	4,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△323	△3,586
その他の包括利益合計	△323	△3,586
四半期包括利益	19,832	461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,832	461
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	930,143	211,448	1,141,591	—	1,141,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,286	9,905	23,191	△23,191	—
計	943,429	221,354	1,164,783	△23,191	1,141,591
セグメント利益	7,084	13,512	20,596	2,180	22,777

(注) 1 セグメント利益の調整額2,180千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	846,903	187,300	1,034,203	—	1,034,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,990	8,678	24,669	△24,669	—
計	862,893	195,979	1,058,873	△24,669	1,034,203
セグメント利益又は損失(△)	△1,936	1,037	△899	2,158	1,259

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額2,158千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。